

新入社員からベテランまで、体系的な教育研修が能力を向上させる

明治40年の創業以来、事業を通じて社会に貢献することを使命としてきた奥村組。技術の研鑽を積み重ね、教育研修に注力し、全員参加で自主的かつ継続的な安全衛生・環境保全活動に取り組んでいる。

株式会社奥村組・大阪府

全社統合マネジメントシステムを構築し、継続的に改善行う

株式会社奥村組では、平成16年4月より品質・環境・安全衛生等を一体とした統合マネジメントシステムを全社で運用している。全社的にPDCAサイクルを回すことで、継続的な改善はもちろん、大きく変化する社会環境に対し、社内組織の速やかな対応や人材の有効活用を可能としている。

なお、ISO9001、ISO14001の認証を全社で取得し、安全衛生についてはコスモス（OHSMS）の認証を名古屋支店で取得し、維持している。

安全衛生管理については、「人命尊重」を基本理念として、安全で快適な職場環境を形成するために安全衛生方針を定め、全員参加で自主的かつ継続的な安全衛生活動を推進している。本社では、安全確保につなぐさまざまな工夫や改善に取り組むとともに、全国の現場や支社店から機械・設備の本質的な安全化をはじめ、作業の打合せ方法の改善や安全標識など、好事例を収集し、社内ホームページ等で全社に水平展開している。

職員安全衛生教育ガイドラインを定め階層別に教育を実施

同社では、「職員安全衛生教育ガイドライン」を定め、新入社員からベテランまで幅広い層の職員に体系的な安全衛生教育を行い、現場における安全衛生活動の向上に努めている。このガイドラインは、職員の安全衛生意識及び管理能力の向上を目的として、安全衛生関係法令の知識、安全衛生管理体制における自己の役割、元方事業者としての協力社

に対する指導方法等を習得する。

体系的な安全衛生教育は、①基礎コース（入社初年時の春期、秋期）、②元方安全衛生管理者コース（入社概ね3年）、③統括安全衛生責任者コース（同5年）、④統責者向上コース（3段階に分類）——に分かれており、定期的を実施している。

基礎コースのカリキュラムをみると、主な教育科目には、労働災害の現状と問題点、安全衛生関係法規、労働災害と企業責任、安全衛生管理体制、安全施工・安全基準、安全施工サイクル、監督者の役割、労働衛生管理、危険予知活動、災害発生時の措置、OHSMSの概要などがある。また、テキストは、自社及び建設業の災害統計をはじめ、安全衛生関係法規集、労働安全衛生マネジメントマニュアルなどを使用している。

元方安全衛生管理者、統括安全衛生責任者コースの終了時には、受講者に理解度テストを行い、教育効果の確認を行っている。